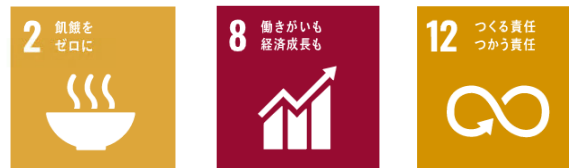


米州開発銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資について

～100 百万米ドルの投資を通じて、中南米・カリブ地域の農業が抱える諸問題の解決に貢献～



農林中央金庫（以下「当金庫」）は、米州開発銀行（正式名称：Inter-American Development Bank、以下「IDB」）が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンド（以下「本債券」）へ総額 100 百万米ドルの投資を実施しましたのでお知らせいたします。本債券は農業を重要テーマとしており、中南米・カリブ諸国における農業に関する諸問題解決に向けたプロジェクトに本債券の資金が利用されます。

当金庫は、2021 年に「持てるすべてを『いのち』に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」をパーパス（存在意義）として決めました。農林水産業を支える協同組織の一員として、自らのビジネスが、農林水産業の営みによる「いのち」や自然の循環とともにあることを認識したうえで、環境・社会課題の解決を通じ、農林水産業を含む社会、そして当金庫の事業活動が持続可能なものとなるよう、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進しています。

また、このパーパス実現に向けて策定した当金庫の中長期目標のなかでは、2030 年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を 10 兆円とする目標を掲げており、持続可能な環境・社会や農林水産業につながる投融資を実践していくこととしています。

IDB は、中南米・カリブ加盟諸国の経済・社会発展への貢献を目的に設立された国際機関です。当該地域では、農業が GDP に占める割合は大きく、農業が重要な基幹産業である一方、農業従事者の貧困、農作物の安全性、価格競争力の低さ等、多様な課題を抱えています。本債券への投資は当該地域が抱える農業の諸問題解決に資する取組みであり、当金庫においても、本債券への投資を通じ、IDB の取組みを投資家の立場からサポートし、その進捗状況を継続的にフォローすることで、農業を取り巻く環境の改善に貢献することを目指します。

当金庫は、目指す姿である「農林水産業の食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」の実現に向けて、今後も様々な環境・社会課題の解決に貢献する投資に取り組んでまいります。

【本債券の発行概要】

発行体	米州開発銀行（長期債務格付：S&P“AAA”、Moody's“Aaa”）
発行額	総額 100 百万米ドル（約 133 億円）
期間	10 年

【参考事例】ペルーにおける農業衛生および食品安全開発プログラム

ペルーでは貧困層の約 6 割が農村部に居住し、その 3 分の 2 が農業で生計を立てています。本プログラムは、農村部において深刻な家畜の微生物汚染や農作物の害虫被害などの衛生面の課題を解決するため、本資金を活用して家畜へのワクチン投与や健康リスクのない農薬散布等を行うものです。こうした課題解決の結果として農畜産物の生産・輸出量が増えることにより、同国の貧困改善を図ることを目的としています。

本プログラムは、国連が提唱する 17 の持続可能な開発目標（SDGs）のうち、「②飢餓をゼロに」、「⑧働きがいも経済成長も」、「⑫つくる責任 つかう責任」の達成に貢献するものです。

リンク（英文）：<https://www.iadb.org/en/project/PE-L1229>

*上記の参考事例については、本資金の活用事例にかかる紹介のみを目的としています。本債券で調達された資金の活用が、上記プロジェクトまたはその分野に限定されるものではありません。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤、水元）
TEL:03-6362-7172